

# 令和2年2月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)



令和元年7月12日

上場会社名 株式会社ブロッコリー

上場取引所 東

コード番号 2706 URL <https://www.broccoli.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 高橋 善之

問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員管理本部長 (氏名) 渡邊 朋浩

TEL 03-6685-1366

四半期報告書提出予定日 令和元年7月12日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 令和2年2月期第1四半期の業績(平成31年3月1日～令和元年5月31日)

### (1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2年2月期第1四半期	1,279	3.6	61	△47.7	60	△47.4	41	△40.1
31年2月期第1四半期	1,235	72.2	118	—	115	—	70	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2年2月期第1四半期	4.80	—
31年2月期第1四半期	8.02	—

(注) 平成30年9月1日付で普通株式5株につき1株の割合で株式併合を行っております。平成31年2月期の期首に株式併合が行われたと仮定し、1株当たり四半期純利益を算定しております。

### (2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2年2月期第1四半期	10,102	9,117	90.2
31年2月期	10,282	9,302	90.5

(参考) 自己資本 2年2月期第1四半期 9,117百万円 31年2月期 9,302百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
31年2月期	—	0.00	—	26.00	26.00
2年2月期	—				
2年2月期(予想)		0.00	—	24.00	24.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

令和2年2月期(予想)の配当性向は39.6%となります。

## 3. 令和2年2月期の業績予想(平成31年3月1日～令和2年2月29日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	6,100	2.1	700	△13.5	730	△12.5	530	△3.7	60.59

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2年2月期1Q	8,747,642 株	31年2月期	8,747,642 株
② 期末自己株式数	2年2月期1Q	372 株	31年2月期	372 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2年2月期1Q	8,747,270 株	31年2月期1Q	8,747,377 株

(注)平成30年9月1日付で普通株式5株につき1株の割合で株式併合を行っております。平成31年2月期の期首に株式併合が行われたと仮定し、期中平均株式数(四半期累計)を算定しております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1.本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が発表日及び現時点で入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づき作成されたものでありますが、業績等につきましては様々な要因により、今後大きく異なる可能性があります。

2.当社は、「財務諸表等規則」に従い財務諸表を作成しております。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	7
(追加情報)	7

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当社が属するエンターテインメント業界におきましては、国内外ともに継続したスマートフォンゲーム市場の成長に加え、国内家庭用ゲーム市場も順調に拡大傾向が続いており、ゲームコンテンツ市場と、関連するキャラクター市場は、世界的にも長期的に高い市場成長が続くと見込まれております。この市場環境において当社は令和2年2月期から令和4年2月期までの3ヶ年を実行期間とする中期経営計画「Go to the Next Stage 次のステージへ突き進め!」を策定し、その実現に向け取り組みを進めております。

このような状況下における当第1四半期累計期間（自平成31年3月1日至令和元年5月31日）の経営成績概況は、以下のとおりであります。

『うたの☆プリンスさまっ♪』関連では、イベントにおいて、3月から6月まで洋菓子店「CAFE OHZAN（カフェオウザン）」とのコラボレーションイベント「うたの☆プリンスさまっ♪ Secret Garden Party」を開催（於：東京、大阪、福岡、名古屋）、4月からは「ブロッコリーガールズショップ2019春」を開催（於：東京、大分、大阪）、春イベントの充実を図ると共に、各会場及び自社通販にて限定グッズの販売を行ってまいりました。

また6月上映の『劇場版 うたの☆プリンスさまっ♪ マジLOVEキングダム』向け関連商品の出荷による売上高も計上し、事前通販及び劇場販売への準備を進めてまいりました。

これらの結果、関連グッズの売上高は、第1四半期累計期間の全体売上高・売上総利益に多大に寄与しております。

加えて、関連CDでは、劇場版に併せて、HE★VENSミニアルバム「アンセム フォー ジ エンジェル」を発売。劇場版の上映を開始した6月以降も、HE★VENSのファン層を拡げております。

また、ゲームアプリ『うたの☆プリンスさまっ♪ Shining Live』は、4月に大型アップデートを行い、昨年9月に大好評を博したイベント「雪月花」の衣装登場等により、人気を集めた結果、前年を上回るロイヤリティ売上高を計上いたしました。

次にトレーディングカードゲーム『Z/X -Zillions of enemy X-（ゼクス ジリオンズ オブ エネミー エックス）』（以下、『Z/X（ゼクス）』）は、4月にシリーズ累計出荷数280万パックを突破、売上高も順調に回復し、売上総利益は前年同期比倍増を達成いたしました。

他社ライセンスグッズは、他社イベント用のグッズ卸売上に加え、「ちゅんコレ」シリーズも好調であったことから上述の『うたの☆プリンスさまっ♪』グッズ同様、売上高・売上総利益に多大に寄与し、前年実績を上回る売上高・売上総利益になりました。

販売費及び一般管理費につきましては、3月に発表いたしました「新プロジェクト『ジャックジャンヌ』」の広告・宣伝に係る販促費の増加、及び中期経営計画推進に基づく人員拡充に伴う人件費、教育研修費等の増加等により82百万円増加いたしました。

これらの結果、当第1四半期累計期間の売上高は1,279百万円（前年同期比3.6%増）を確保いたしました。販売費及び一般管理費が上述の理由から378百万円（同28.1%増）となりましたこと、営業利益61百万円（同47.7%減）、経常利益60百万円（同47.4%減）、四半期純利益41百万円（同40.1%減）となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

### (流動資産)

当第1四半期会計期間末における流動資産の残高は7,485百万円で、前事業年度末に比べ390百万円減少しております。主な内容は、売掛金の増加304百万円、商品及び製品の増加57百万円、仕掛品の増加37百万円などの増加要因に対し、現金及び預金の減少894百万円などの減少要因であります。

### (固定資産)

当第1四半期会計期間末における固定資産の残高は2,616百万円で、前事業年度末に比べ210百万円増加しております。主な内容は、無形固定資産の増加164百万円、投資その他の資産の増加56百万円などの増加要因であります。

### (流動負債)

当第1四半期会計期間末における流動負債の残高は902百万円で、前事業年度末に比べ47百万円増加しております。主な内容は、買掛金の増加56百万円、その他流動負債の増加208百万円などの増加要因と、未払法人税等の減少135百万円、賞与引当金の減少25百万円、役員賞与引当金の減少51百万円などの減少要因であります。

### (固定負債)

当第1四半期会計期間末における固定負債の残高は82百万円で、前事業年度末に比べ42百万円減少しております。主な内容は、役員退職慰労引当金の減少42百万円などの減少要因であります。

### (純資産)

当第1四半期会計期間末における純資産の残高は9,117百万円で、前事業年度末に比べ185百万円減少しております。これは、四半期純利益41百万円が計上された一方で、剰余金の配当227百万円が行われたことが主な要因であります。

## (3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

令和2年2月期通期業績予想及び配当予定につきましては、変更はありません。

なお、業績見通し等の将来に関する記述は、当社が発表日及び現時点で入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づき作成しておりますが、業績等につきましては経営環境の変化やその他様々な要因により大きく異なる可能性がありますので、その場合には開示が可能となった時点で速やかに業績予想の修正を公表いたします。

## 2. 四半期財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成31年2月28日)	当第1四半期会計期間 (令和元年5月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	7,056,395	6,161,748
売掛金	507,174	811,945
商品及び製品	78,696	136,369
仕掛品	92,166	129,481
原材料及び貯蔵品	797	916
その他	142,599	248,639
貸倒引当金	△2,078	△3,531
流動資産合計	7,875,750	7,485,570
固定資産		
有形固定資産		
建物	1,218,017	1,218,838
減価償却累計額	△214,831	△226,679
建物(純額)	1,003,185	992,159
土地	907,414	907,414
その他	131,215	136,624
減価償却累計額	△87,530	△92,669
その他(純額)	43,684	43,954
有形固定資産合計	1,954,284	1,943,528
無形固定資産	227,616	392,232
投資その他の資産		
その他	232,445	288,680
貸倒引当金	△7,546	△7,546
投資その他の資産合計	224,898	281,134
固定資産合計	2,406,800	2,616,896
資産合計	10,282,551	10,102,466
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	302,207	358,442
未払法人税等	164,471	28,762
返品調整引当金	74,133	69,385
賞与引当金	44,472	19,332
役員賞与引当金	54,000	3,000
その他	215,532	423,799
流動負債合計	854,817	902,722
固定負債		
退職給付引当金	22,618	22,868
役員退職慰労引当金	44,816	2,541
その他	57,697	56,898
固定負債合計	125,131	82,307
負債合計	979,948	985,030

(単位：千円)

	前事業年度 (平成31年2月28日)	当第1四半期会計期間 (令和元年5月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,361,275	2,361,275
資本剰余金	2,066,627	2,066,627
利益剰余金	4,873,663	4,688,206
自己株式	△781	△781
株主資本合計	9,300,785	9,115,327
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	1,817	2,109
評価・換算差額等合計	1,817	2,109
純資産合計	9,302,602	9,117,436
負債純資産合計	10,282,551	10,102,466

## (2) 四半期損益計算書

第1四半期累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期累計期間 (自平成30年3月1日 至平成30年5月31日)	当第1四半期累計期間 (自平成31年3月1日 至令和元年5月31日)
売上高	1,235,038	1,279,969
売上原価	821,576	839,898
売上総利益	413,462	440,070
販売費及び一般管理費	295,435	378,323
営業利益	118,026	61,747
営業外収益		
受取利息及び配当金	0	0
不動産賃貸料	18,899	18,927
その他	32	9
営業外収益合計	18,931	18,936
営業外費用		
支払利息	137	88
不動産賃貸費用	21,768	20,041
その他	27	16
営業外費用合計	21,932	20,146
経常利益	115,025	60,538
特別損失		
固定資産処分損	12,273	—
特別損失合計	12,273	—
税引前四半期純利益	102,751	60,538
法人税等	32,627	18,566
四半期純利益	70,124	41,971

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第1四半期会計期間を含む事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(追加情報)

(「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を当第1四半期会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示しております。